

# 令和7年度（2025年度） 第2回越谷市社会福祉審議会 児童福祉専門分科会会議録

令和7年（2025年）8月19日（火）

13：30～14：30

越谷市役所本庁舎8階 第1委員会室

## ○委員定数（18名）

## ○出席委員（16名）

|         |        |                   |
|---------|--------|-------------------|
| 松本 實    | 委員     | 越谷市私立保育園・認定こども園協会 |
| 本田 香奈子  | 委員     | 越谷市私立幼稚園協会        |
| 宮崎 大輔   | 委員     | 越谷市地域型保育連絡協議会     |
| 村山 勝代   | 委員     | 越谷市民生委員・児童委員協議会   |
| 石川 幸子   | 委員     | 越谷市医師会            |
| 会田 容子   | 委員     | 越谷市子ども会育成連絡協議会    |
| 中岡 朋代   | 委員     | 越谷子育てサークルネットワークの会 |
| 菅野 敦子   | 委員     | 越谷市小学校長会          |
| 山室 舞    | 委員     | 越谷市PTA連合会         |
| 相澤 靖子   | 委員     | 埼玉県立越谷西特別支援学校     |
| 沼田 孝司   | 委員     | 埼玉県越谷児童相談所        |
| 岡 桃子    | 委員     | 埼玉県立大学            |
| 宮地 さつき  | 分科会会長  | 文教大学              |
| 八田 清果   | 分科会副会長 | 埼玉東萌短期大学          |
| 日比谷 富貴子 | 委員     | 越谷地区労働組合協議会       |
| 根岸 千怜   | 委員     | 公募委員              |

## ○欠席委員（2名）

|        |    |         |
|--------|----|---------|
| 高橋 奨   | 委員 | 越谷商工会議所 |
| 久能 由莉子 | 委員 | 公募委員    |

## ○事務局出席者（１２名）

|        |                       |
|--------|-----------------------|
| 関 泰輔   | 子ども家庭部副部長（兼）子ども施策推進課長 |
| 福岡 敏哉  | 子ども家庭部副参事（兼）青少年課長     |
| 金子 豊   | 子ども福祉課長               |
| 角屋 亮   | こども家庭センター長            |
| 秋山 和之  | 保育入所課長                |
| 小田 哲郎  | 保育施設課長                |
| 山崎 健晴  | 福祉部副参事（兼）障害福祉課長       |
| 佐久間 敏彦 | 子ども施策推進課 調整幹          |
| 木村 なつ子 | 子ども福祉課 副課長            |
| 永田 達也  | 子ども施策推進課 主幹           |
| 齋藤 直人  | 子ども施策推進課 主任           |
| 野澤 稜汰  | 子ども施策推進課 主事           |

## 1 開会（13：30～）

### (1) 会議の成立について

越谷市社会福祉審議会条例第6条第3項の規定では、会議は委員の半数以上の出席で成立するものとされており、当日は委員総数18名のうち16名が出席しているため、会議が成立することを報告

### (2) 傍聴確認について

本審議会は、越谷市社会福祉審議会条例施行規則第5条の規定に基づき、原則公開であることを説明し、当日の傍聴人は0人であった。

## 2 議事

### ○報告事項

#### (1) 第2期越谷市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

事務局から会議資料に基づき、説明をしたところ、質疑事項はなかった。

#### (2) 第5次越谷市障がい者計画の進捗状況について

事務局から会議資料に基づき、説明をしたところ、次のとおり質疑・応答があった。

委員：資料4、P12「公立保育所による児童発達支援センターへの訪問回数・訪問人数」について、公立保育所によると記載があるが、私立保育園の実績は反映されているのか。

事務局：私立保育園についても反映されている。

委員：令和6年度、私立保育園で7回実施しているが、記載されている訪問回数と乖

離してしまっている。再度、訪問回数をご確認していただくとともに、私立保育園も反映されていることが分かるよう表現を変えていただきたい。

事務局：記載されている訪問回数が実数であるのか、延べ回数であるかも含め、改めて確認して提供する。

委員：本事業は私立幼稚園でも実施することができるのか。できる場合、どのように進めていけばよいか教えていただきたい。

事務局：対象施設を広げていく方向であるが、具体的な手続きについては検討中である。

委員：こどもたちが小さいうちから、様々なこどもがいることを偏見なく関わっていくことが大切であると考えているため、質問させていただいた。

事務局：障がいのある子とない子の交流は、障がいのある子が通う保育所等を児童発達支援センター等の職員が訪問し、集団での適応方法等を助言する保育所等訪問支援事業から波及して広がっていく可能性もあると考える。児童発達支援センターを中心に障がいのある子とない子が一つの場所で育ちあえることを目指していく。

議長：大学生を見ていると、小さい頃にこのような交流があるかどうか大きな影響になっていると思うので地域交流ができるようにしていただければと思う。

### **(3) 第7期越谷市障がい福祉計画・第3期越谷市障がい児福祉計画の進捗状況について**

事務局から会議資料に基づき、説明をしたところ、次のとおり質疑・応答があった。

委員：3枚目の「障がい児支援の提供体制の整備等」の項目で「児童発達支援センターの設置」等があるが、設置し充実させることが重要であると思うが、本計画では設置することが目標という理解で良いか。

事務局：計画を策定する際項目が設置の有無が指標となっており、計画上は設置の有無になってしまっているが、どのような成果を残しているか情報提供することは可能である。

議長：有識者が集まるせっかくの機会であるため、今後、実態を教えていただけるとありがたい。

### **(4) 保育ステーションにおける送迎保育の廃止について**

事務局から会議資料に基づき、説明をしたところ、次のとおり質疑・応答があった。

委員：利用者等からの課題に対応した上で、利用が減少しているのか。対象施設が限られているようにも感じる。また、基礎調査等で需要は確認したのか。

事務局：開始当初は利用の条件が厳しかったが、より利用を促進するため条件の緩和を行なうことで利用者の増加を図ってきた。また、廃止を検討する前にも、対象施設の増加により、利用者を増加させることを考えたが、増加してしまうと長時間送迎バスに乗ることになり、こどもの負担となってしまうことを考慮し、廃止という判断をした。

### **(5) 越谷市病児保育事業（令和8年4月開設分）の公募結果について**

事務局から会議資料に基づき、説明をしたところ、質疑事項はなかった。

**(6) 令和7年度(2025年度)における保育施設の整備等について**

事務局から会議資料に基づき、説明をしたところ、質疑事項はなかった。

**3 その他**

**(1) こしがや こどもまんなか！フェスティバルの開催について**

事務局から当日配布したイベントチラシ(未確定版)を参考に説明をしたところ、次のとおり質疑・応答があった。

委員：未確定版とのことだが、民生委員の活動の中で本イベントで実施する事業の説明をチラシを見ながら受けた。確定版ではないのか。

事務局：日付や実施する事業は確定しているが、参加者の募集期間が未定であったりするため、未確定としている。

委員：こどもを楽しませるだけでなく、こどもの意見を取ったり、こどもの権利について啓発することもこどもまんなかの趣旨であると思うので、是非実施していただきたい。

事務局：そのような事業の実施も検討しているので、確定次第、HP等で周知していく。

**(2) 令和7年度の事業予定について**

事務局から令和7年度は残り1回程度の児童福祉専門分科会の開催を予定している旨説明した。

**4 閉会（～14：30）**